

令和6年度学校経営方針

1 学校経営基本姿勢

生きぬく力をもった子ども

～学びの中で夢を抱き 夢の実現に向けて 努力する子ども～

社会性の育成と学力保障

～認め合い 高め合い 励まし合う 学校～

「安全」な学校・「安心」できる学校

児童・教職員・保護者・地元の方にとって

「いきやすい」学校

『あたたかくて活気のある学校・学級づくり』

「よく学び よく遊べ」

【各学期のキーワード】

○1学期：「つくる」

学校・学級の基盤をつくる 人間関係をつくる 習慣をつくる

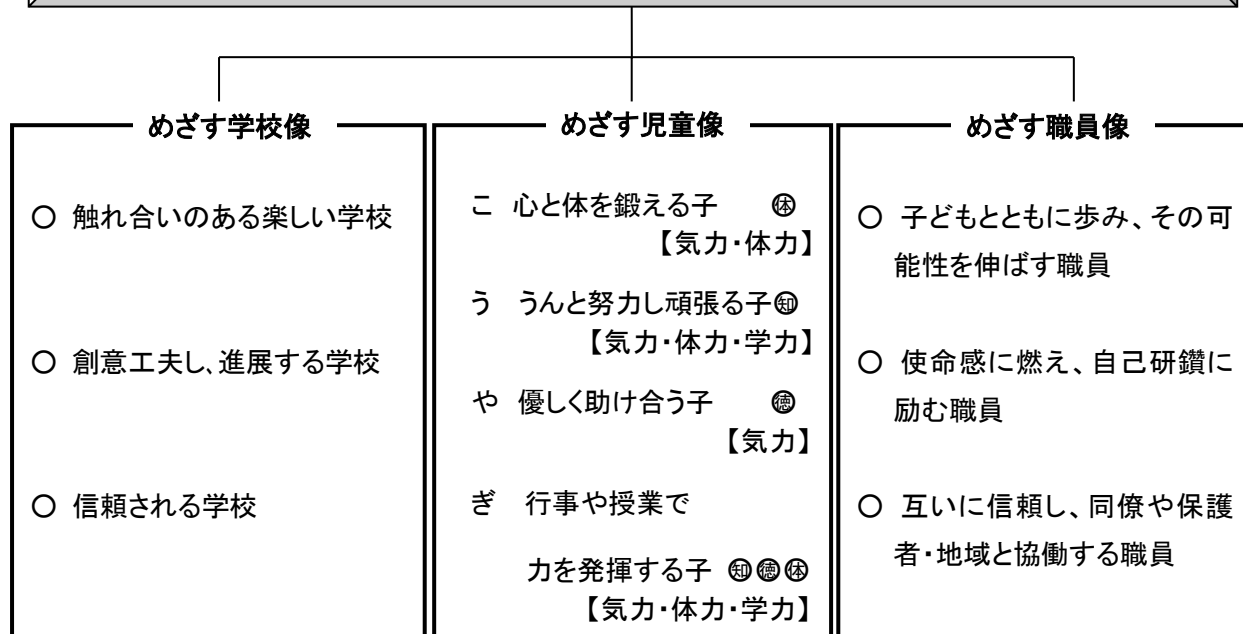
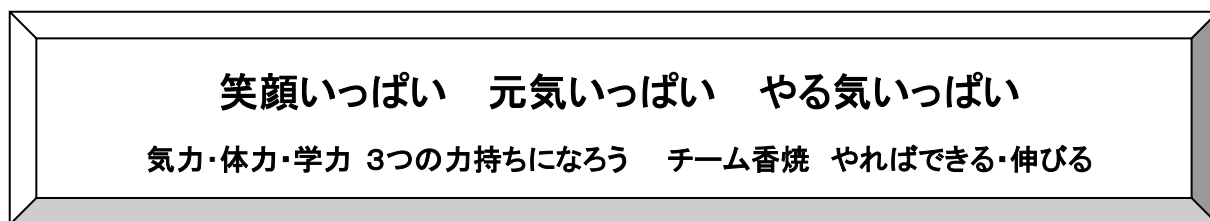
○2学期：「育てる」

よりよい学校・学級を育てる よりよい人間関係を育てる

よりよい習慣を育てる

○3学期：「つなぐ」

育った力（個・集団）を来年度につなぐ



3 長崎市第五次総合計画・第4次長崎市教育振興基本計画

(1) 基本施策

G1 「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」

【2025年度にめざす姿】

- ◎ 子どもが長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている。

(2) 個別施策

①G1-1 「『確かな学力』の向上を図ります」

【2025年度にめざす姿】

- 子どもが、自ら学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる。
- 子どもが、「確かな学力」を身に付けている。

②G1-2 「健やかな心と体を育成します」

【2025年度にめざす姿】

- 子どもが、長崎を愛し、やさしく、たくましく生きるための豊かな心や体力を身に付けている。

③G1-3 「家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります」

【2025年度にめざす姿】

- 子どもが、家庭、学校、地域の連携によって健やかに育っている。

④G1-4 「安全・安心に学べる教育環境を整備します」

【2025年度にめざす姿】

- 子どもが、安全・安心な環境で学んでいる。

4 重点努力目標(長崎市第五次総合計画・第4次長崎市教育振興基本計画と関連付けて)

(1) 確かな学力の定着【G1-1】

①特別支援教育の充実

- 児童の実態を適切に把握し、個に応じた指導・支援を行う。

②主体的・対話的で深い学びの実践

- 学習意欲が高まり持続できる「めあて」を設定し、児童が納得できる「まとめ」を行う。
- 発達段階や教科・単元・場面に応じた「振り返り」を行う。
- 児童・教科の実態に応じた授業構成を工夫する。
時間配分 学習形態
- 児童の思考活動を活性化させる方法を工夫する。
思考ツール(算数アイテム他) 学習形態
- 書く活動を適切に取り入れる。
- 香焼スタンダードを活用する。

③基礎基本の定着と活用力の向上

- 既習事項の反復練習や活用問題に取り組みさせる。

「帯タイム」の有効活用

④読書指導の充実

- 本を借りる習慣を付けさせる。
- 発達段階に応じた選書ができるように指導する。
- 学校図書館司書・図書ボランティアとの連携を積極的に図る。

⑤家庭学習の習慣化

- 学級・児童の実態に応じた宿題を示す。
- 発達段階に応じて「自律的な学習」につながる「自主学習」に取り組みさせる。
- 香焼スタンダードを活用する。

⑥ICTの有効活用

- クロームブックを効果的に活用する。
A I ドリルの活用(基礎基本の定着)
情報の共有化

(2) 健やかな心と体の育成【G1-2】

①特別支援教育の充実

- 児童の実態を適切に把握し、個に応じた指導・支援を行う。

②心の触れ合いの充実

- 適切な児童理解に努める。
- 「認め合い 高め合い 励まし合う学級」づくりに努める。
- 積極的に個人面談や教育相談を行う。
- 「心の時間」を充実させる。

③健康の保持・増進ができる力の育成

- 「あはは運動」の定着を図る。
＜あ＞ あいさつ・へんじ げんきよく!
＜は＞ はやね・はやおき・あさごはん!
＜は＞ はきものそろえ いいきもち!

- 衛生管理ができる力を育成する。
手洗い うがい ハンカチ マスク

○ メディアと上手に付き合う力を育成する。

- 情報モラル教育 学校保健委員会
- 外遊びを奨励する。

④道徳科指導の充実

- 「考え議論する道徳」を踏まえた教材・指導法の工夫を図る。
- 生命尊重を重視した指導を心掛ける。
- 日常の教育活動全般を通じた指導を行う。

⑤新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策の徹底

- 感染状況に応じた対策を確実に行う。

(3) 信頼される学校づくり【G1-3】

①特別支援教育の充実

- 児童の実態を適切に把握し、個に応じた指導・支援を行う。

②ルールを守りマナーのよい態度の育成

- 学校外でも生かされる指導をする。

□気持ちのいいあいさつ・返事・言葉遣い・「さん・くん」付け

□安全な廊下歩行

□誰が見ても気持ちのいい整理整頓・後片付け

③ふるさとを愛し、地元を支える心を育てる取組

- 積極的に地元との交流・連携を図る。
- キャリアパスポートを有効活用する。

④一人一人の子どもを大切にされた積極的生徒指導の充実

- 問題発生の予防への最大限の努力及び早期発見と早期対応に努める。
- 「いじめアンケート」（心の天気）などをもとに、必要に応じて個人面談を行う。

○ 全員一体となった対応をする。

⑤保護者・地域の学校理解のための努力

- 定期的で無理のない「情報発信（たより・HP）」に努める。
- 地元人材・地元施設を積極的に活用する。

(4) 教育環境の整備【G1-4】

①特別支援教育の充実

- 児童の実態を適切に把握し、安全で。安心できる環境づくりを行う。

②安全・安心な環境

- 安全に関わる予防対策と危険箇所発見時の即時対応を徹底する。
- 安全点検を丁寧に行う。
- ユニバーサルデザインの視点から教育環境を整える。

③美しい環境

○ 無言清掃を徹底する。

- 学級園・学校園の整備を心掛ける。
- 不要物は適正な手続きを踏まえた上で、速やかに処分する。

(5) サービスの厳正

①模範となる言動

- 時間を守る。（各種会議・授業の終始 など）
- 提出物の期限を守る。（特に外部への報告）

②公務員としての立場の自覚

- 圧倒的当事者意識をもち、自ら真摯に不祥事防止に心がける。
- 圧倒的同僚意識をもち、気になることは声をかけ合う。

(6) 働き方改革の推進

- ◎ 教職員一人一人が業務改善の意識をもつ。（自分・周り）
- ◎ 担当業務の適正化を進める。
- ◎ 繁忙期における短縮日課を実施する。
- ◎ 行事の精選縮減を図る。
- ◎ ICT機器を効果的に活用する。